

会社概要

(2017年6月20日現在)

社名 太洋工業株式会社
 設立 1960年12月
 代表者 代表取締役社長 細江 美則
 資本金 793,255,000円
 従業員 262名(連結ベース)
 関連グループ会社 株式会社ミラック
 TAIYO TECHNOLEX (THAILAND) CO., LTD.
 マイクロエンジニアリング株式会社
 太友(上海)貿易有限公司

事業所

本社・工場 〒640-8390 和歌山市有本661番地
 東京事業所 〒102-0073 東京都千代田区九段北1丁目3番3号
 九段下東急真サクラビル7F
 九州事業所 〒873-0231 大分県国東市安岐町下原384-20
 台北駐在員事務所 台北市大安区忠孝東路四段221號12樓

株主メモ

事業年度 毎年12月21日から翌年12月20日まで
 期末配当受領株主確定日 毎年12月20日
 中間配当受領株主確定日 毎年 6月20日
 定時株主総会 毎年 3月20日まで
 株主名簿管理人 三菱UFJ信託銀行株式会社
 特別口座の口座管理機関 三菱UFJ信託銀行株式会社 大阪証券代行部
 〒541-8502 大阪市中央区伏見町三丁目6番3号
 TEL(0120)094-777(通話料無料)
 同連絡先 東京証券取引所JASDAQ(スタンダード)
 (証券コード6663)
 公告の方法 電子公告により行います。
 公告掲載URL
<http://www.taiyo-xelcom.co.jp/>
 (ただし、電子公告によることができない事故、その他のやむを得ない事由が生じたときは、日本経済新聞に掲載いたします。)

(ご注意)

- 株主様の住所変更、買取請求その他各種手続きにつきましては、原則、口座を開設されている口座管理機関(証券会社等)で承ることとなっております。口座を開設されている証券会社等にお問合わせください。株主名簿管理人(三菱UFJ信託銀行)ではお取り扱いできませんのでご注意ください。
- 特別口座に記録された株式に関する各種手続きにつきましては、三菱UFJ信託銀行が口座管理機関となっておりますので、上記特別口座の口座管理機関(三菱UFJ信託銀行)にお問合わせください。なお、三菱UFJ信託銀行全国本支店でもお取次ぎいたします。
- 未受領の配当金につきましては、三菱UFJ信託銀行本支店でお支払いいたします。

株式の状況

(2017年6月20日現在)

発行可能株式総数 ----- 23,280,000株
 発行済株式の総数 ----- 5,850,000株
 株主数 ----- 2,079名

大株主

株主名	持株数(千株)	持株比率(%)
株式会社細江ホールディングス	1,600	27.4
細江 美則	600	10.3
細江 正大	480	8.2
太洋工業従業員持株会	335	5.7
株式会社紀陽銀行	290	5.0
紀陽興産株式会社	240	4.1
紀陽リース・キャピタル株式会社	150	2.6
小川 由晃	117	2.0
旭東電気株式会社	102	1.8
日本証券金融株式会社	63	1.1

(注) 持株数は、表示単位未満の端数を切り捨てて表示、また持株比率は、自己株式を控除して計算しており、小数第二位を四捨五入して表示しています。

ホームページのご案内

当社のホームページでは株主・投資家の皆様に企業情報や財務情報について、積極的に情報開示を行っておりますのでぜひご覧ください。

<http://www.taiyo-xelcom.co.jp/>



IRページをご活用ください。

事業の紹介、当社の強み、業績の推移、配当政策について解説しています。



TAIYO INDUSTRIAL CO.,LTD.

〒640-8390 和歌山市有本661番地
 TEL(073)431-6311(代) FAX(073)432-5469



太洋工業株式会社

証券コード：6663

株主のみなさまへ

第57期 株主通信

2016年12月21日 > 2017年6月20日

第2四半期



ご挨拶

株主の皆様におかれましては、平素より格別のご高配を賜り厚く御礼申し上げます。

当第2四半期連結累計期間におきましては、電子基板事業におけるFPC試作の売上や商社事業、基板検査機事業における受注が計画どおり進捗せず、売上高が当初予想を下回ったこと等から、第2四半期の業績予想の修正に至りました。通期の業績予想につきましては、業績の状況や受注残高を考慮した上で、電子基板事業における原価低減に向けた取り組みを更に推進することで、当初の計画数値は達成可能であると判断しており据え置くことといたしました。

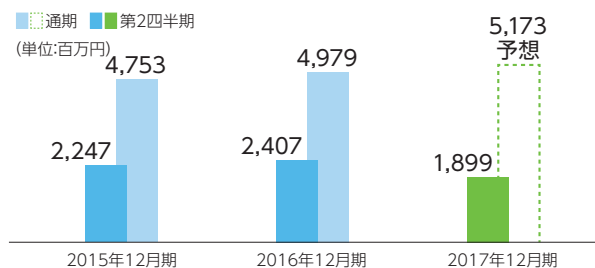
第3四半期以降につきましては、新規顧客開拓や休眠顧客の掘り起こしなど効率的に営業活動を推進し、FPCの極薄化など次世代技術力をアピールしていくことにより、高い収益性が見込める高難度製品等の受注体制の充実・強化に注力するとともに、基板検査機の海外における販売戦略を引き続き推進することで、グループ一丸となり売上・利益の確保を目指してまいります。

株主の皆様には、今後とも当社グループの事業活動へのご理解と、なお一層のご支援を賜ります様お願い申し上げます。

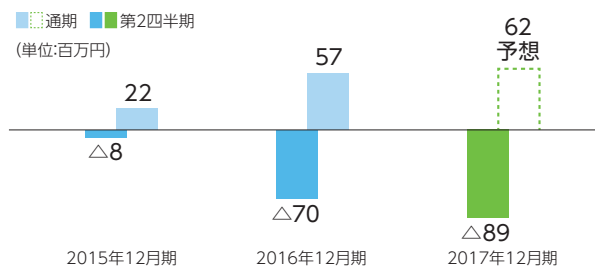
代表取締役社長

細江 美則

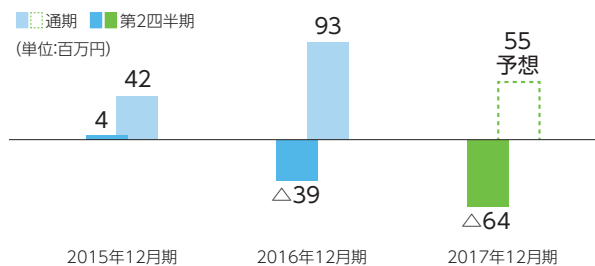
売上高



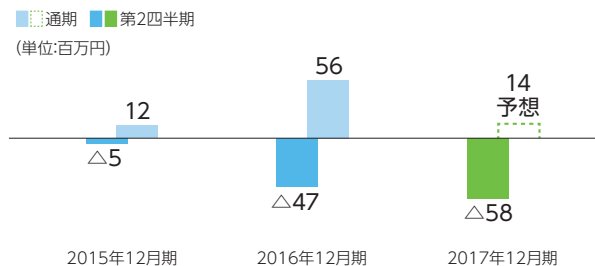
営業利益



経常利益



親会社株主に帰属する四半期(当期)純利益



2017年12月期 第2四半期業績のポイント

売上高は前年同四半期比21.1%減となり、損益は損失計上となりました。

- 鏡面研磨機事業の売上増の一方、基板検査機事業における、まとまった受注があった前年同四半期の反動減により売上高減少
- 鏡面研磨機事業の増収効果及び電子基板事業の利益率改善効果の一方、基板検査機事業の減収要因により損失計上

TOPICS

主力の通電検査機「DS」にラインアップ追加でシェア拡大を目指す

「DS」シリーズは発売以来、顧客からの評価が高くアジア市場を中心に販売実績を積み上げている当社主力の通電検査機です。

この度新機能を追加した最新モデル「DS202AT」を発売いたしました。当モデルはアライメント機能の追加により、高精細FPCの検査が可能となったことに加え、2軸搬送システムの採用により搬送の効率化が図られ、検査にかかる総合的な時間短縮を実現した顧客ニーズに応えたモデルであります。

すでに受注は開始しており、更なるシェア拡大に向け精力的な販売促進に注力してまいります。



DS202AT